



身近な自然と触れあおう 親子教室「野鳥観察会」

1月11日、笠松みなと公園一帯で冬鳥の観察会が行われました。

講師を務めた岐阜大学名誉教授の箕浦 秀樹氏によると、暖冬の影響で例年と比較すると観察できた種類は少なめということでしたが、ポカポカ陽気となった当日も約20種類の野鳥を確認することができました。

子どもたちも見分け方を教わりながら、慣れない双眼鏡を一生懸命のぞき込み、身近な自然を満喫している様子でした。



高齢者見守りネットワーク事業に 「ぎふ農業協同組合」が加わりました

1月16日、岐阜市の都ホテルで「高齢者見守りネットワーク協定合同調印式」が行われ、協力事業者として「ぎふ農業協同組合」が加わりました。

この協定は、協力事業者が普段の事業活動のなかで高齢者を緩やかに見守り、異変のある高齢者を早期に発見し、必要な支援に繋げることを目的としたもので、今回の協定締結により、協力事業者は8事業者となりました。高齢者が住み慣れた地域で安心して生活ができるよう、引き続き見守り活動に努めてまいります。



ぎふフューチャーセンター 「みんなで作ろう、これからの笠松町」

1月18日、これからのまちづくりについて意見交換を行うワークショップ（ぎふフューチャーセンター）を岐阜大学と共同開催し、地域コミュニティの担い手である子育て世代や学生を中心に約40人が参加されました。

グループワークでは、特に町民の人柄やバイタリティを活かしたまちづくりに関する発言が多く聞かれました。町では、皆さんが思い描く笠松町の将来像に近づけるため、今回の貴重なご意見を今後の町政運営に反映していきます。



新春の青空彩る 木曾川凧あげまつり

1月19日、笠松町民米野運動場・岐南町町民グラウンドで、「第15回木曾川凧あげまつり」が開催されました。

参加者が思い思いに凧あげに興じる中、凧あげ名人が珍しい凧をあげて、訪れる人を楽しませました。

また、会場内では凧や地元品の販売、食べ物の出店なども行われ、たくさんの親子連れで賑わいました。